

Press Release

平成31年2月28日

「住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動に関する第11回調査」について

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会

一般社団法人住宅リフォーム推進協議会(会長:國井 総一郎)は、このほど「住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動に関する調査」を行いました。本調査は、住宅リフォームの潜在需要者の意識と行動の実態を明らかにするとともに、潜在需要の顕在化に有効な方策を検討するための基礎資料を得ることを目的として、平成13年度から行っている調査で、今回で11回目となります。

第6回調査までは、正会員、特別会員のご協力をいただき調査を実施してまいりましたが、第7回調査からは調査会社を通じて対象者を抽出し、調査を行う手法に変更して実施しています。

今回の調査結果の特徴は、以下のとおりです。

■ 調査結果の特徴

I.一般層のリフォーム需要（予備調査※1より）

※1 持ち家に居住する30歳以上の男女(13,160件)を対象としたインターネットによるアンケート調査

1. すべての年代においてリフォーム潜在需要は増え、特に若年代層の具体的なリフォーム意向が伸びている。潜在需要が最も大きいのは50才代

すべての年代で“リフォームをしたい”と回答した人の割合が増加した(図1)。最も割合が高いのは50才代(図1)。

30才代、40才代といった“若年代”では、“10年以内にリフォームしたい”という層が伸びていることから、住宅取得から早い段階でのリフォームを指向する人が増えているといえる(図1)。

II.リフォーム需要者の意識と行動（本調査※2より）

※2 予備調査で「10年以内にリフォームしたい」と回答した1,861件から人口構成比に応じて割付抽出した1,000件

1. リフォーム予算は、戸建て・マンション共に築浅・若年代の方が高い傾向も、全体のリフォーム予算は減少傾向

築浅(築後年数10年未満)と築古(築後年数30年以上)の平均予算額を比較すると、戸建て、マンションともに築浅の方が高い(図3)。

年代別平均予算額では戸建て、マンション共に30才代が最も高い(図4)。

平均予算額は、戸建て約269万円(前回約292万円)、マンション約262万円(前回約265万円)と、いずれも減少した(図2)。

2. 中古住宅購入率は幅広い年代層で増加傾向。特に若年代では顕著

「中古住宅購入者」の割合は、戸建て、マンション共に幅広い年代層において増加傾向にある(図5)。

特に、戸建てでは 30 才代が 20.8%、マンションでは 40 才代が 43.8%を示し、若年代を中心に中古住宅購入に対する抵抗感は薄まっている様子が見られる(図 5)。

3. 築古住宅では“設備や機器の老朽・グレードアップ”、築浅住宅ではライフステージやライフスタイルの変化がリフォームの動機

リフォームの動機は、築 20 年以上の築古住宅では戸建て・マンション共に“設備や機器の老朽・グレードアップ”が多い(図 6)。

一方、築 10 年未満の築浅住宅では、“家族の人数の変化や子の成長にともなって”、“好みの間取りやインテリアにしたい”、“特定の部屋を設けたい”などのライフステージやライフスタイルの変化に伴う動機が増える(図 6)。

4. 9 割以上の方がリフォームに対して何らかの不安を抱いている

リフォームを検討している人のうち、「不安や心配に思うことはない」と回答しているのは 1 割に満たず、9 割以上が何らかの不安を抱いている(図 7)。

最も多いのは「見積りの相場や適正価格がわからない」で、戸建て 38.7%、マンション 43.4%となった(図 7)。

5. 戸建てとマンションではリフォーム情報入手方法に違いがみられる

リフォーム情報の入手方法は、戸建ては「いつも工事を依頼している業者」、「友人・知人」、「営業マン」等、直接人を介して入手する傾向が強まり、マンションは「インターネット」、「チラシ・広告誌」、「ショールーム」、「カタログ」等の資料を通して入手する傾向が強まる(図 8)

6. 支援制度の認知率は 30 才代が最も高い。マンションでは 50 才代の認知率も高い。

リフォーム支援制度の認知率は、戸建て、マンションともに 30 才代が最も高く、6 割を超えている。(図 9)。

また、前回比では、戸建てでは 30 才代、マンションでは 30 才代と 50 才代の伸び率が他年代と比べて高い(図 9)

■ 調査概要

目的:住宅リフォーム潜在需要者の意識と行動の実態について明らかにする

実施時期:平成 30 年 9 月 21 日～9 月 25 日 ※予備調査に引き続き本調査を実施

対象:(予備調査)持ち家に居住する 30 歳以上の全国在住男女 13,160 件

(本調査) 予備調査で「10 年以内にリフォームしたい」と回答した 1,861 件から人口構成比に応じて割付抽出した 1,000 件

調査手法:インターネットによるアンケート方式

本件に関する問合せは下記までお願いします。

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会 担当:安井
TEL 03-3556-5430 FAX 03-3261-7730
〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2
ステージビルディング 4F

(参考資料)
 関連グラフを掲載

I. 一般層のリフォーム需要 (予備調査より)

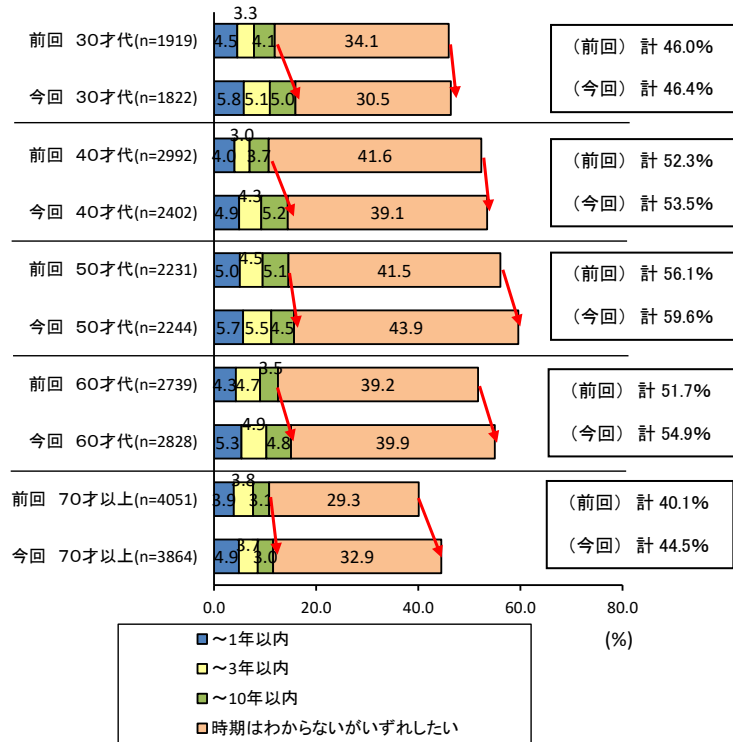


図1 リフォーム意向の時期 年代別 前回調査との比較

II. リフォーム需要者の意識と行動 (本調査より)

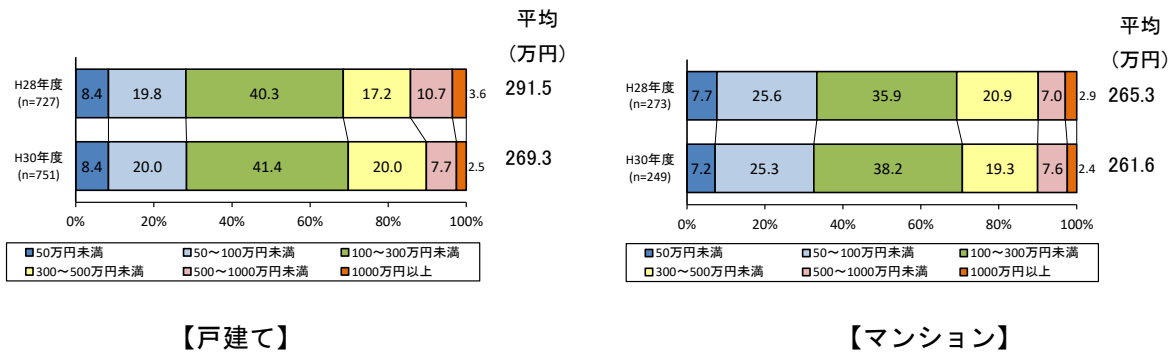


図2 リフォームの予算 住宅の種類別 前回調査結果との比較

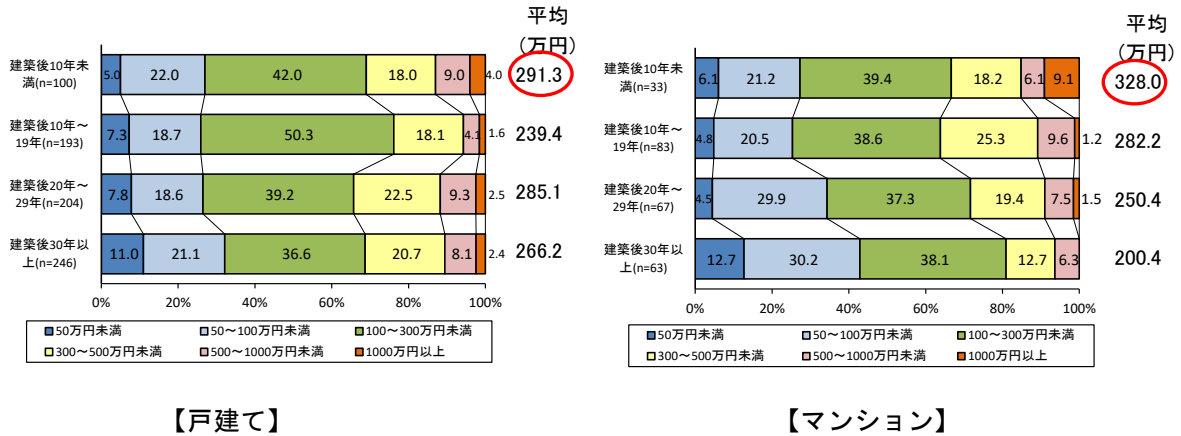


図3 リフォームの予算 住宅の種類別 築後年数別

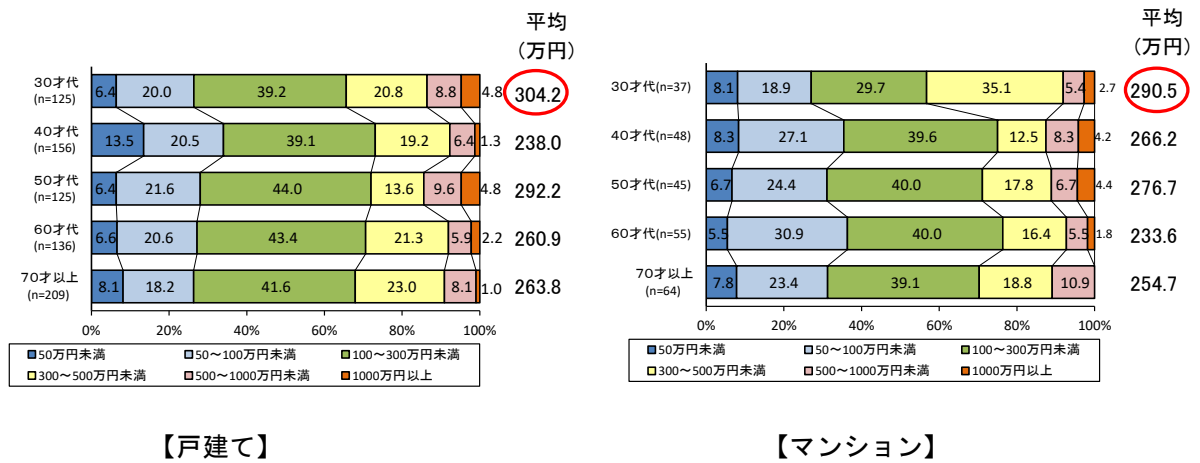


図4 リフォームの予算 住宅の種類別 年代別

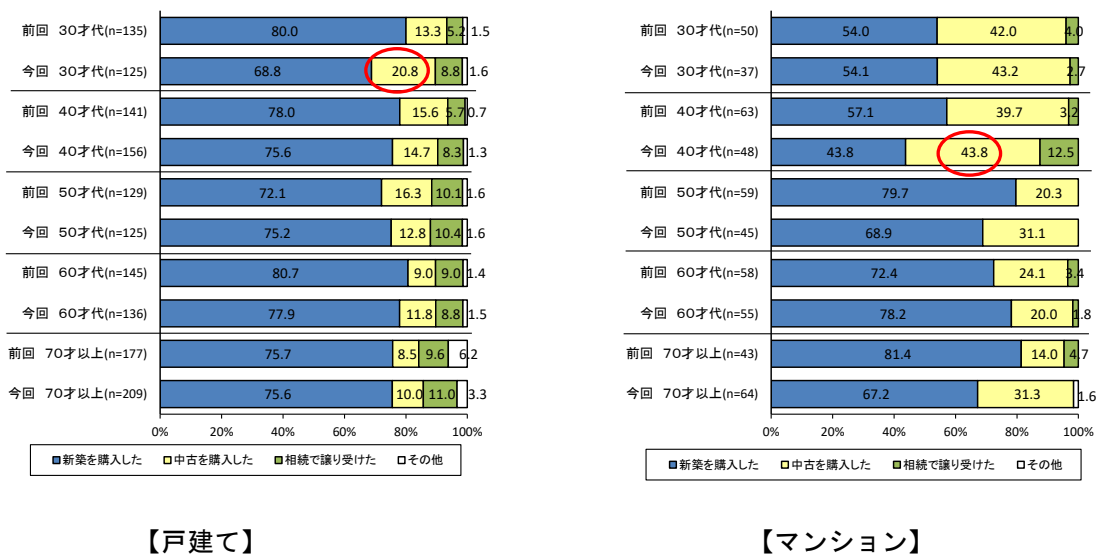
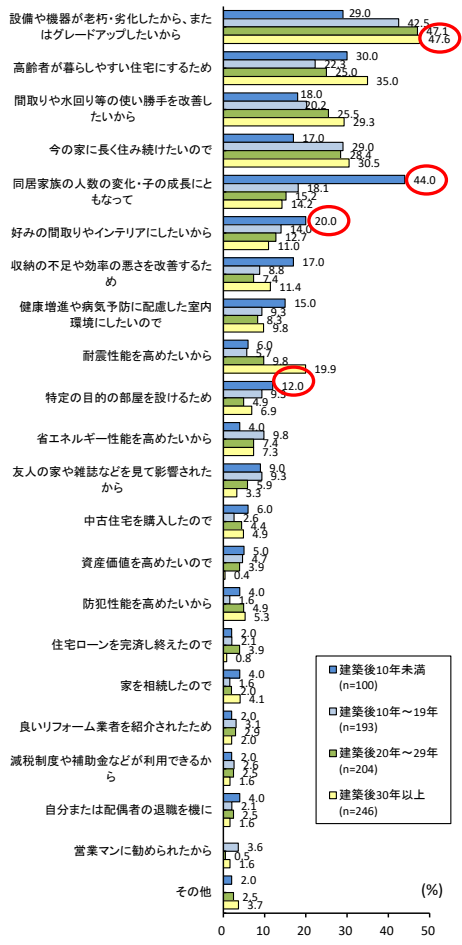
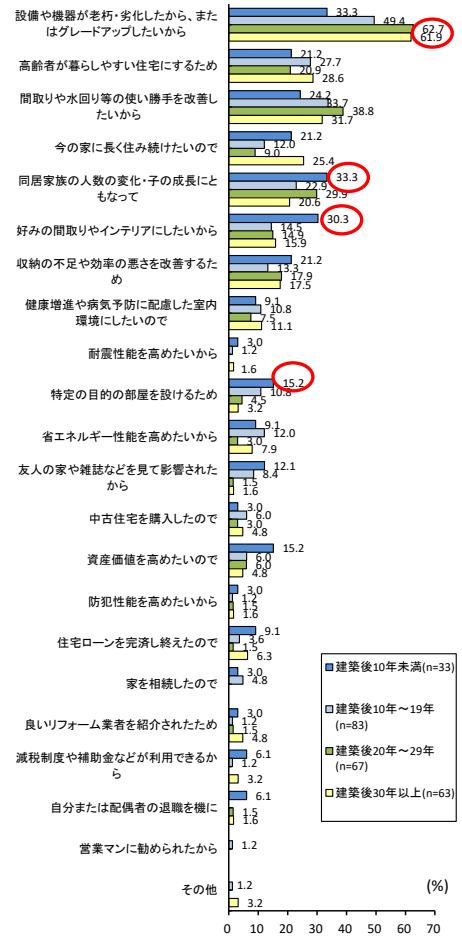


図5 住宅の取得方法 住宅の種類別 年代別 前回調査との比較



【戸建て】



【マンション】

図6 リフォームの動機 住宅の種類別 築後年数別

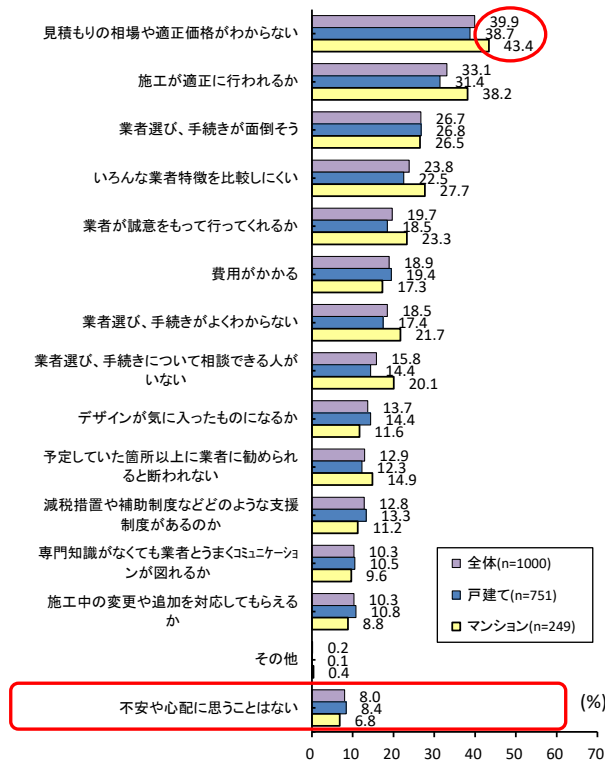


図7 リフォームの際の不安や心配事 住宅の種類別

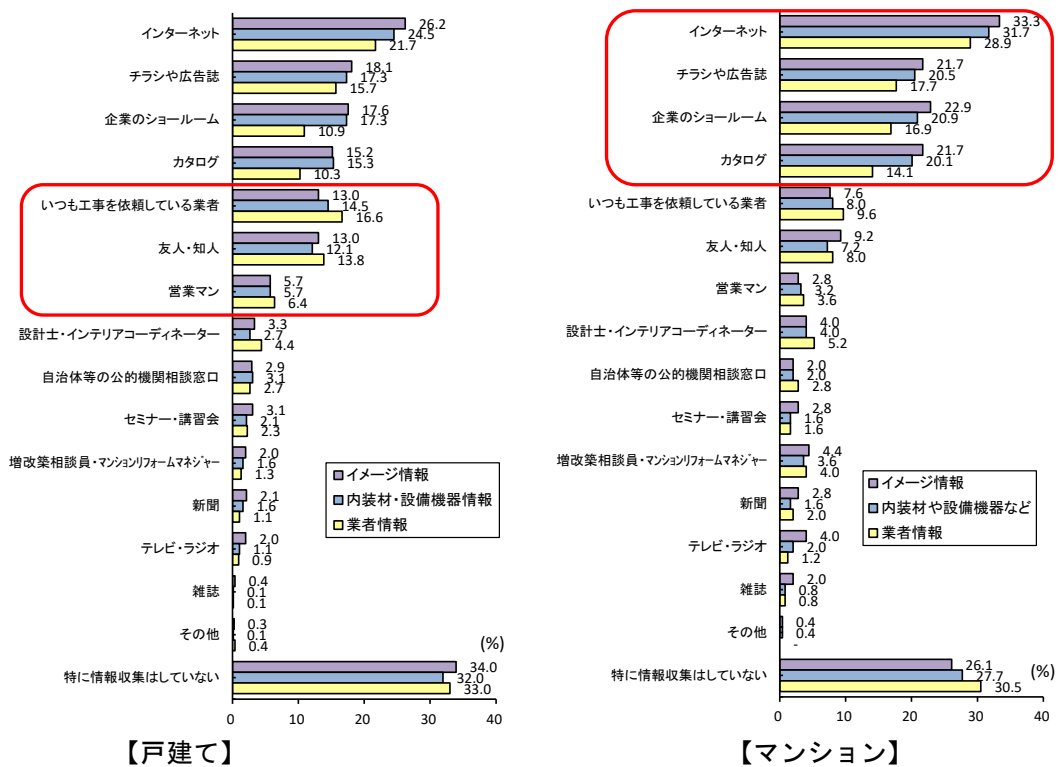
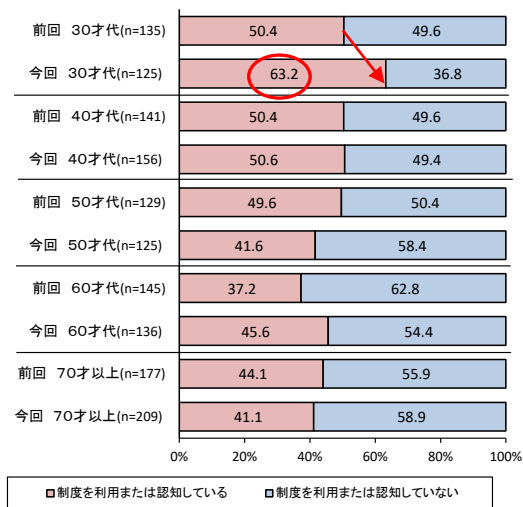
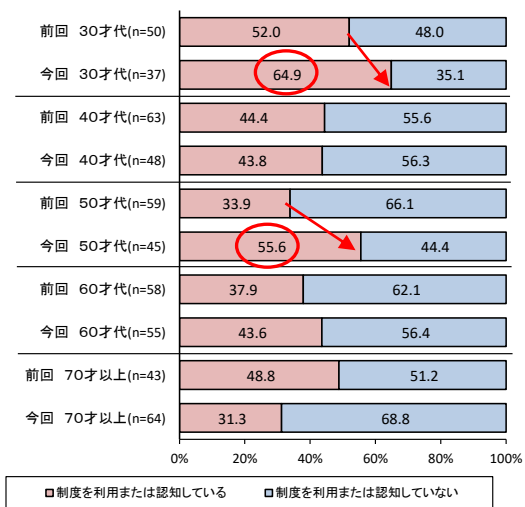


図8 リフォーム情報の入手先 住宅の種類別



【戸建て】



【マンション】

図9 リフォーム支援制度の利用及び認知状況 住宅の種類別 前回調査と比較